

## 交通安全だより第4号

### I. 4月の安全運転管理について

#### 1. 歩行者の安全を確保し、事故から守ろう

##### ～特に子供や高齢者などには注意しましょう～

子供や高齢者などの歩行者との交通事故が多発しています。そこで、歩行者との事故防止策を検討し、安全運転を実施するようにしましょう。入園や入学などを迎える4月からは歩行中の子供の事故が増加する傾向があります。子供は車が接近していても急に道路に飛び出してくるなど大人が予測できない行動をとることがあるため、見かけた場合、「飛び出してくるもの」と考えて速度を落とし、その動静に注意しましょう。高齢者には、車両の直前直後の横断等、法令違反が多いことが特徴です。高齢者を見かけた場合には「道路を横断してくるかもしれない」と予測する運転を徹底するようにしましょう。



##### ～ダイヤモンド手前での運転方法について～

信号機のない横断歩道の手前には「横断歩道等あり」を示すダイヤモンド（路面標示）が表示されています。このマークを見かけた際には、前方に横断歩道があることを意識して、歩行者等の横断に備えなければなりません。まずは、アクセルから足を離し、歩行者等の有無をしっかりと確認します。横断歩道を渡ろうとしている歩行者がいる場合には、横断歩道の手前で一時停止して、渡り終わるのを待ちましょう。横断歩道を渡ろうとしているのか、判断に迷うような歩行者がいる場合には、いつでも止まれるように準備することも重要です。

##### ～事故に繋がる運転習慣～

一時停止の標識や標示のある場所で、減速しただけで通過している、また止まっているつもりでも実際には車は動いている、そんな運転をしていませんか。そのような運転は、交差点付近の歩行者や自転車の見落としにつながり、事故の危険が高くなります。一時停止を指定されている場所では確実に停止して、安全確認を徹底しましょう。

#### 2. 発進時とバック駐車時は3つの安全確認を忘れずに！ ～スリーステップを確実にいきましょう～

##### 発進時の安全確認3ステップ

###### ステップ① 車両の前方を確認



前方の死角に子供等がいらないか、前方の駐車車両と接触しないかなどを確認する。

###### ステップ② ミラーで右後方を確認

ミラーで右後方から二輪車等が接近していないか確認する。後続車が接近している場合は、後続車の通過を待つ。



###### ステップ③ 目視で右後方を確認



ミラーで確認しただけでは不十分。発進する前には必ず目視で後方の安全を確認すること。

##### バック駐車時の安全確認3ステップ

###### ステップ① 駐車スペースを確認



駐車するときは、目視で駐車スペースの状況と駐車車両が発進してこないか確認する。

###### ステップ② 後方全体を確認

後方全体を見渡して、車や歩行者がいらないか確認する。バックモニターには、死角があるので過信は禁物。



###### ステップ③ 周囲をさらに確認



前方の駐車車両に接触しないか、歩行者はいないかなど、周囲の安全を確認してからバックする。

### II. 今月の交通ヒヤリハット

・事業場より提出されたヒヤリハットです。危険予知活動に利用してください。

いつ	帰宅途中
どこで	一般道路
何をしている時に	左前方に2列で走行している自転車を認識しながら運転していた時
どうなった	コンビニから車が出てきて自転車が避けようと車道に大きく膨らみ接触しそうになった (自車は徐行していなかった)

### Ⅲ. 今月の事故事例

#### ◆事故の発生状況

令和〇年4月某日 午前11時20分頃 天候：晴れ

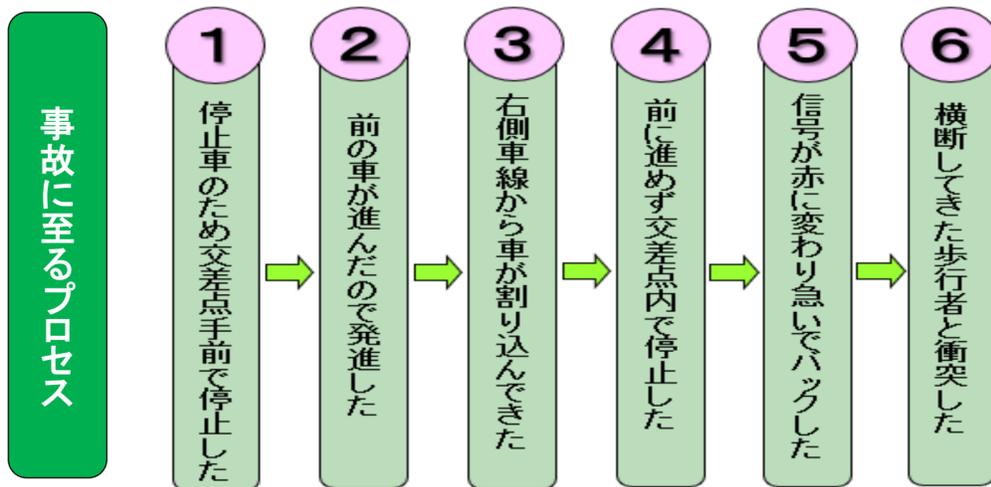
#### ◆事故の当事者

A / 男性29歳 普通乗用車運転

B / 女性39歳 歩行中

#### ◆事故の発生概要

Aさんは、日用雑貨を製造・販売している会社で営業マンとして勤務しています。事故当日はホームセンターに向かって片側2車線道路の左側車線を走行し、ホームセンターの直前にある交差点に差しかかりました。この交差点を越えた所には、ホームセンターに入る車が止まっていたので、青信号でしたが交差点の手前で停止しました。停止後すぐに、ホームセンターの駐車場に入っていき車が進みだしたので、Aさんが発進し始めたとき、右側車線から軽自動車（B）がAさんの車の直前に割り込んできたのです。Aさんはびっくりして急停止しました。軽自動車は、ホームセンターに入るため横断歩道を越えたところに停止したので進むことができず、交差点に進入したところで停止することになりました。Aさんは「なんて車なんだ」と憤慨してカッとなりました。その後、対面信号が赤に変わり、右方から車が進行してきたため、Aさんは、ルームミラーをチラッと見て、後方に車がっていないことから急いでバックしたところ、横断歩道の左方から渡ってきた歩行者と接触しました。



#### 事故の原因と背景要因

- ① 割り込んできた車に対する憤りから、周囲に対する注意力が低下していた。
- ② 後方の安全確認をミラーだけで行い、目視で左右後方の安全を確認しなかった。
- ③ 後方に車がっていないことで安全だと思い込み、急いでバックした。
- ④ 「横断歩道→歩行者の横断」という危険を予測できなかった。

#### 類似事故を起こさないために運転者の対策は

##### ● 交差点の周囲の状況を確認する

交差点は危険地帯という認識を持ち、交差点内でやむを得ず停止した場合は、周囲の状況を十分に確認して、冷静に判断して行動すること。

##### ● 安全を確認してからバックする

他の交通の邪魔になるという意識から、行動を急ぐと安全確認が疎かになる。落ち着いて安全第一の行動をとる。バックする場合は、左右後方の安全を確認してからゆっくりと発進する。

#### ワンポイントアドバイス

#### バックミラーの死角

バックミラーには大きな死角があり、そこに潜んでいる人や車を見落とし進行すると衝突する危険がある。とくに、次のような運転行動を変える場面では見落としが生じやすい。

※バック時：歩行者や自転車の見落とし

※車線変更時：二輪車の見落とし

※左折時：二輪車、自転車の見落とし

運転行動を変えるときには、ミラーの死角に潜む危険を予測し、自分の目で後方の安全を確認する必要がある。

